

【特集】

時事から考える

中小企業診断士1次試験

ふぞろいな

予想問題

GWを目前に控えたこの時期、受験生の皆さんは1次試験に向けて学習を進めていらっしゃるのだらう。しかし、例年出題される時事を反映した問題については、参考書やテキストによる対策がとりづらい。

そこで本特集では、「ふぞろいな合格研究会」の皆さんの協力を得て、今年出題の可能性がありそうなテーマを取り上げ、「予想問題」を掲載した。対策の一助となれば幸いである。

時事問題の傾向分析と近年の時事の振り返り [安藤 準]

予想問題① …………… マイナンバー編 [石崎一之進]

予想問題② …………… TPP編 [中里英則]

予想問題③ …………… 新技術編 [篠原雅人]

予想問題④ …………… M&A編 [森 大輔]

【特集】

時事から考える
中小企業診断士1次試験
ふぞろいな
予想問題

1

時事問題の傾向分析と近年の時事の振り返り

安藤 準

ふぞろいな合格研究会 / 中小企業診断士

中小企業診断士試験1次試験の本番まで、残すところ約3ヵ月となりました。受験生の皆さんは、試験に向けた準備を進めていらっしゃるかと思います。

試験では毎年、さまざまな問題が出題されますが、中には時事を反映した問題も多く見られます。しかし通常は、過去問を元に作られた参考書やテキストで学習するため、時事を考慮した問題の対策はとりにくのが実情でしょう。また、「あと1問正解だったら…」と涙をのむ受験生も毎年いらっしゃいますが、時事問題への対応こそがその「あと1問」につながります。

そこで本特集では、書籍『ふぞろいな合格答案』シリーズ（同友館）でおなじみのふぞろいな合格研究会のメンバーが議論を重ね、近年の時事を振り返りつつ、今年の問題を予想するという大胆な試みを行いました。本特集が、少しでも受験生の皆さんのお役に立つことを願っています。

1. 1次試験と時事問題

(1) 1次試験で出題された時事問題

まずは、1次試験で出題された時事問題を振り返ります。具体的には、最近1～2年のニュースや、10年程度までを考慮した時代の流れや政府

の方針を汲み取った話題などが考えられます。平成27年度を例にとると、1次試験最初の科目である経済学・経済政策の第1問で、以下のような問題が出題されました。

平成27年度 経済学・経済政策 第1問
財務省の資料によれば、わが国の一般会計歳入決算額の構成は、税金、公債金収入、その他の収入という3つに区別されている。2013年度のわが国の歳入構成の説明として、最も適切なものはどれか。

このように、直近の統計情報や国の財務データをもとにした問題が何問か出題されています。

さらに、期間を近年（5～10年）で捉えると、最近の技術や経済動向、中小企業の課題を踏まえた問題などが考えられます。たとえば運営管理では、以下のような選択肢が出題されました。

平成27年度 運営管理 第2問 選択肢工
3次元CADと3Dプリンタを連携させることで構造解析・流体解析等のシミュレーションがコンピュータ上で可能となり、開発コストの低減と開発期間の短縮につながった。

3Dプリンタは2000年代後半から急激に普及が進んだ技術で、大きな話題を呼んでいます。こ